

令和7年度 第4学年（国語）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4	力を合わせてばらばらに 春のうた 白いぼうし なりきって書こう 図書館の達人になろう 漢字辞典を使おう 春の楽しみ	【知識及び技能】 ○ 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 ○ 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
5	聞き取りメモのくふう カンジーはかせの都道府県の旅1 漢字の広場1 思いやりのデザイン アップとルーズで伝える	
6	お礼の気持ちを伝えよう 漢字の広場② 一つの花 つながぎ言葉のはたらきを知ろう 短歌・俳句に親しもう（一） 要約するとき	
7	新聞を作ろう カンジーはかせの都道府県の旅2 夏の楽しみ 本のポップや帯を作ろう	
9	忘れもの ぼくは川 あなたなら、どう言う パンフレットを読もう どう直したらいいかな いろいろな意味をもつ言葉 ローマ字を使いこなそう 漢字の広場③	
10	ごんぎつね 漢字を正しく使おう 秋の楽しみ クラスみんなで決めるには	
11	未来につなぐ工芸品 工芸品のみりよくを伝えよう 慣用句 短歌・俳句に親しもう（二） 漢字の広場④	
12	友情のかべ新聞 もしものときにそなえよう 冬の楽しみ 自分だけの詩集を作ろう	
1	言葉から連想を広げて 熟語の意味 漢字の広場⑤ 風船でうちゅうへ	
2	つながりに気をつけよう 心が動いたことを言葉に	
3	調べて話そう、生活調査隊 スワンレイクのほとりで 漢字の広場⑥ 四年生をふり返って	
〈評価について〉		
○ 言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識・技能を習得しているか。 ○ 日常生活における人との関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養っているか。 ○ 言葉がもつよさに気付くとともに、言語感覚を養い、思いや考えを伝え合おうとしているか。 以上のことを、単元ごとのテストや授業での発言内容、ノートや提出物、授業での発言内容、作文、発表、グループや学級全体での話し合い活動の様子などを基に評価します。		
〈学習方法など〉		
○ 漢字の定着を図るため、漢字スキルや漢字スキルノート、漢字練習用ノートを使います。 ○ 幅広く読書に親しめるよう、学習情報センターを活用します。週1回、朝読書の時間を設けます。		

令和7年度 第4学年（社会）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4 5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	1 県の地図を広げて 2 健康なくらしとまちづくり （1）ごみはどこへ （2）水はどこから 3 自然災害にそなえるまちづくり 4 地域で受けつがれてきたもの 5 昔から今へと続くまちづくり 6 わたしたちの県のまちづくり （1）焼き物を生かしたまちづくり （2）昔のよさを未来に伝えるまちづくり ※せんたく 自然を生かしたまちづくり （3）国際交流がさかんなまちづくり	【知識及び技能】 ○ 自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○ 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ○ 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。
〈評価について〉 ○ 課題への取組を基に、学習の様子を評価します。あゆみには、発言や話し合い活動で考えたことや選択・判断したこと、单元ごとのテストやワークシート、ノートなどの記述から評価します。 ○ 自分たちの都道府県の地理的環境の特色、自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けているかを評価します。 ○ 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力が身に付いているかを評価します。 ○ 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を評価します。		
〈学習方法など〉 ○ インタビューや調べ学習、図書館の活用、インターネットの利用などから情報を得る活動を通して、学習に関心をもつことができるようにします。		

令和7年度 第4学年（算数）年間学習計画

月	学習内容	年間学習目標
4	★学びのとびら 1. 大きい数のしくみ ◆他教科との関連:英語	【知識及び技能】 ○ 小数及び分数の意味と表し方、四則の関係、平面図形と立体図形、面積、角の大きさ、折れ線グラフなどについて理解するとともに、整数、小数及び分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や角の大きさを求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
5	2. 折れ線グラフと表 ◆他教科との関連:理科	
6	3. わり算の筆算(1) 4. 角の大きさ	【思考力・判断力・表現力等】 ○ 数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを養う。
7	5. 小数のしくみ ★考える力をのばそう ●そろばん	
9	6. わり算の筆算(2) ●倍の見方	
10	7. がい数の表し方と使い方 ☆おぼえているかな? ★算数で読みとこう	
11	8. 計算のきまり 9. 垂直、平行と四角形	
12	10. 分数 ☆おぼえているかな? 11. 変わり方調べ ☆おぼえているかな?	【学びに向かう力・人間性等】 ○ 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。
1	12. 面積のくらべ方と表し方	
2	13. 小数のかけ算とわり算 ★どんな計算になるのかな?	
3	14. 直方体と立方体 ◆他教科との関連:英語 ★考える力をのばそう ★算数で読みとこう ★4年のふくしゅう	
〈評価について〉 ○ 既習の知識及び技能を踏まえて、基本的な数量や図形概念及び意味、性質や数量関係、表やグラフなどの意味を確実に理解しているか、適切に数理的な処理や表現ができる技能を確実に習得しているか。 ○ 「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」で身に付ける力を用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりしているか。 ○ 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えているか、学習したことを生活や学習に活用しているか。 以上のことを単元ごとのテストや学習の様子、発表、ノートのとり方やコンパス、分度器、定規の使い方などを基に評価します。		
〈学習方法など〉 ○ 大きい数のわり算や小数の計算練習をタブレットPCを活用して継続的にを行います。 ○ およその数や□を使った式など、理解の定着に時間のかかる単元は継続的に復習します。 ○ 分度器で角度を測るなど、巧緻性を求められる作業は繰り返し練習します。 ○ 個に応じた指導を行うため、学習内容ごとにレディネステストの結果をもとに習熟度別少人数指導を実施します。		

令和7年度 第4学年（理科）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4 5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	◎季節と生物①春の始まり 1. 天気と気温 ◎季節と生物②春 2. 季節と生物③夏 3. 電池のはたらき 4. とじこめた空気や水 ◎季節と生物③夏 ◎星や月①星の明るさや色 ◎季節と生物④夏の終わり 5. 雨水のゆくえ 6. 星や月②月と星の位置の変化 7. わたしたちの体と運動 ◎季節と生物⑤秋 8. ものの温度と体積 ◎星や月③冬の星 ◎季節と生物⑥冬 9. もののあたたまり方 10. すがたを変える水 ◎季節と生物⑦春のおとずれ	【知識及び技能】 ○物質・エネルギー 空気、水及び金属の性質、電流の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ○生命・地球 人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○物質・エネルギー 空気、水及び金属の性質、電流の働きについて追究する中で、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力を養う。 ○生命・地球 人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星について追究する中で、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 ○物質・エネルギー 空気、水及び金属の性質、電流の働きについて追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度を養う。 ○生命・地球 人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星について追究する中で、生物を愛護する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。
〈評価について〉 ○ 单元ごとのテストによる評価と合わせて、問題解決の流れを記したノートやワークシート、学習のまとめなどから評価します。 ○ 関係付けながら調べる活動を通して、既習の内容や生活経験を基にして、根拠のある予想や仮説を発想し、表現したことを評価します。 ○ 関心や意欲をもって自然の事物・現象と関わり、自ら問題を見いだして追究する活動を行う中で、生命を愛護しようとする態度や主体的に問題解決しようとする態度を評価します。また、安全に配慮して取り組む姿を評価します。		
〈学習方法など〉 ○ 気温と天気、空気と水など身の回りの科学的事象などの問題に対し、既習の内容や生活経験を基にして、根拠のある予想や仮説を立てさせます。 ○ 日頃から身近な自然に親しむ多く機会を多く設け、自然や生き物への関心を深めさせ、問題を見だし、追究させていきます。 ○ ICT機器を活用し、視覚的に学んでいきます。		

令和7年度 第4学年（音楽）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4	○音楽で心の輪を広げよう 小さな世界 リズムでなかよくなろう さくらさくら	〔知識及び技能〕 ○ 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
5	○歌声のひびきを感じ取ろう いいこと ありそう 風のメロディー パパゲーノとパパゲーナの二重唱 まきはの朝	○ 〔思考力、判断力、表現力等〕 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
6	○いろいろなリズムを感じ取ろう クラッピング ファンタジー 楽しいマーチ いろんな木の実	○ 〔学びに向かう力、人間性等〕 進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
7	ピーナッツ ベンダー 言葉でリズムアンサンブル	
8	○ちいきにつたわる音楽に親しもう こきりこ	
9	ちいきにつたわるおどりやまいの音楽を調べよう	
10	○せんりつのとくちょうを感じ取ろう 陽気な船長 ゆかいに歩けば	
11	とんび 白鳥／堂々たるライオンの行進	
	○せんりつのもんじを感じ取ろう パレード ホッポー ファランドール	
12	オーラ リー	
1	もみじ	
	○いろいろな音のひびきを楽しもう	
2	打楽器の音楽 ポロネーズ 茶色の小びん	
	○日本の音楽でつながろう こと独奏による主題と6つの変奏「さくら」から 津軽じょんがら節／ていんさぐぬ花 ことをひいてみよう 「さくら さくら」の音階でせんりつづくり	
3	○思いを音楽で表そう 赤いやねの家 鉄わんアトム 山の魔王の宮殿にて 朝の気分	
〈評価について〉 ○ 題材の表現や技能だけでなく、進んで音楽活動に取り組んでいるかを評価します。 ○ 音楽表現を考え、どのように歌ったり、演奏したりするか思いや意図をもって工夫している様子を評価します。 ○ 友達との音楽活動を楽しみながら進んで取り組んだり、音楽に対する様々な感じ方や考え方を認めたりする様子を評価します。		
〈学習方法など〉 ○ 家庭学習の内容は、その後の授業において振り返りを行い、習得が不十分な部分については一斉授業で補います。 ○ 自分の表したい音楽表現ができるように、段階的に学習します。 ○ 様々な音楽に親しみ、曲や演奏のよさを得られる教材を用意します。 ○ 友達と音楽活動をする楽しさを大切にしながら、自分の感じたことや表現を進んで伝え合う場を多く設定します。		

令和7年度 第4学年（図工）年間学習計画

月	学習内容	年間学習目標
4 5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	オリエンテーション 絵の具でゆめもよう まぼろしの花 ゴーゴードリームカー おもしろボックス カードで伝える気持ち ギコギコトントンクリエイター 秋の美発見 コロコロコロガール 組んで立ててつなぐんぐん ほってすって見つけて 色合いひびきあい 写真をとったら見えてきた	【知識及び技能】 ○ 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的についたり表したりすることができるようにする。 ○ 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 ○ 【学びに向かう力、人間性等】 進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。
〈評価の方法について〉 ○ 出来上がった作品の他に、一人一人の活動の様子(集中しているか、楽しんでいるか)や作品の制作過程(学習したことを生かして作っているか、安全に気を付けて作っているか、自分なりの工夫がされているか)を授業観察の中で見ていきます。 ○ 作りたい作品のアイデアや作ってみて感じたこと、自分の作品についての説明、友達の仕事を見て感じたこと等が書かれたカードや題材のふり返しワークシートから、どのように感じたり考えたりしたのかを見ます。		
〈学習方法など〉 ○ 教科書に掲載されている参考作品を鑑賞し、形や色の良さを感じとり、自分の作品づくりに生かしたり、教師が提示した作品から作品作りのヒントを得たりします。 ○ 材料の特性を考え、使う材料でできることを、いろいろ試してみる。		

令和7年度 第4学年（ 体育 ）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4	体ほぐしの運動 多様な動きをつくる運動	【知識及び技能】 ○ 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や発育・発達について理解するとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○ 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 ○ 各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とも仲良く運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。
5	かけっこ・リレー リズムダンス	
6	ネット型ゲーム	
7	鉄棒運動	
9	浮いて進む運動 もぐる・浮く運動 体ほぐしの運動 小型ハードル	
10	多様な動きをつくる運動 マット運動 ゴール型ゲーム	
11	跳び箱運動 保健 体の発育・発達	
12	ベースボール型ゲーム ゴール型ゲーム	
1	表現 高跳び	
2	多様な動きをつくる運動	
3	ゴール型ゲーム	
〈評価について〉 ○ 運動技能や知識のほか、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性を評価します。 ○ 運動の楽しさを味わうための工夫や、自分の能力に応じた目標に向けた努力の様子を評価します。また、学習カード等を用い、自己評価や児童相互の評価も大切にします。 ○ きまりを守り誰とも仲良く運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりする様子も観察し、評価します。		
〈学習方法など〉 ○ 授業時間は運動量をしっかり確保します。また、考えたことを友達に伝える活動を取り入れ、学び合いの時間を大切にします。		

令和7年度 第4学年（外国語活動）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4	Let's Try!2 Unit 1 (2時間) Hello, world! 世界のいろいろな言葉で をしよう。	【知識及び技能】 ○ 外国語を通して、言語や文化について体 験的に理解を深め、日本語と外国語との 音声の違い等に気付くとともに、外国語の 音声や基本的な表現に慣れ親しむように する。
5.6	Let's Try!2 Unit 2 (4時間) Let's play cards. すきな遊びを伝えよ	
7	Let's Try!2 Unit 3 (3時間) I like Mondays. すきな曜日は何かな？	【思考力、判断力、表現力等】 ○ 身近で簡単な事柄について、外国語で聞 いたり話したりして自分の考えや気持ちな どを伝え合う力の素地を養う。
9	Let's Try!2 Unit 4 (4時間) What time is it? 今、何時？	
10	Let's Try!2 Unit 5 (4時間)	【学びに向かう力、人間性等】 ○ 外国語を通して、言語やその背景にある文 化に対する理解を深め、相手に配慮しなが ら、主体的に外国語を用いてコミュニケー ションを図ろうとする態度を養う。
11	Do you have a pen? おすすめの文房具 つくろう。	
12	Let's Try!2 Unit 6 (4時間) Alphabet アルファベットで文字遊びをし	
1	Let's Try!2 Unit 7 (5時間) What do you want? ほしいものは、何か	
2.3	Let's Try!2 Unit 8 (4時間) This is my favorite place. お気に入りの 場所をしょうかいしよう。	
	This is my day.(5時間) This is my day.ぼくわたしの1日	
〈評価について〉 ○ 活動の様子や振り返りカードから、聞いた音を模倣して話そうとしているか、学習した言葉 を使って話そうとしているか、相手の顔を見て明瞭な声で話そうとしているかなどを評価し ます。		
〈学習方法など〉 ○ 外国語活動では、積極的に発話することで、実践的なコミュニケーション能力が養われま す。学習した英単語や簡単な英語表現を生活の中で発話する機会を多く設けます。		

令和7年度 第4学年（ 特別の教科 道徳 ）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標	
4	親切, 思いやり 自然愛護 希望と勇気, 努力と強い意志	（「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」） 第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 【第3学年及び第4学年重点目標】協働 ○身近な人と協力し助け合うこと ○集団や社会のきまりを守り、正しいと判断したことを進んで行おうとすること 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 という3つの観点を想定し、教材に応じてそのうちの2つの観点を取り上げている。 (1) 年間を以下の 4 つの「学習のまとまり」に分けています。 ・4 月から 5 月の学習のまとまり…自己を見つめる ・6 月から 9 月の学習のまとまり…他者との関わりを見つめる ・10 月から 12 月の学習のまとまり…成長する自己と向き合う ・1 月から 3 月の学習のまとまり…より広く人や社会との関わりについて考える (2) 学習指導要領に示された内容項目(第3・4学年)は、それぞれの学年において網羅されています。	
5	節度, 節制 相互理解、寛容 正直, 誠実		
6	生命の尊さ 善悪の判断, 自律, 自由と責任 公正、公平、社会主義 勤労、公共の精神		
7	友情, 信頼 伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度		
9	生命の尊さ 感謝 節度, 節制 家族愛、家庭生活の充実		
10	規則の尊重尊重 自然愛護 善悪の判断, 自律, 自由と責任 伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度		
11	よりよい学校生活、集団生活の充実 友情、信頼 礼儀 勤労、公共の精神		
12	正直、誠実 個性の伸長		
1	家族愛、家庭生活の充実 生命の尊さ 規則の尊重尊重		
2	感動、畏敬の念 友情、信頼 国際理解、国際親善		
3	親切、思いやり 希望と勇気、努力と強い意志		
〈評価について〉 ○ 道徳科の目標「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習」が実現できていたかを評価します。そのために、授業中の発言や話し合いの様子、ノートやワークシート等の記述をもとに肯定的評価をします。			
〈学習方法など〉 ○ 教科書とワークシートを使って学習します。 ～学習の流れ～ ①教材文の状況を把握する。 ②登場人物の思いを共通理解する。 ③授業の中心で考えさせたいこと(場面)について、より深く話し合えるよう話し合い活動を行う。 ④これまでの自分を振り返り、自己を見つめる。			

令和7年度 第4学年（総合）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4 5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	わたしたちにできること（通年）	【知識及び技能】 ○ 自分の生活や身近な地域にかかわる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ○ 自分の生活や身近な地域の中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力・人間性等】 ○ 自分の生活や身近な地域についての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を養う。
〈評価について〉 ○ テストは行わずに、発表やプレゼンテーションなどの表現、話し合い・学習や活動の様子、ワークシート・ノート・絵などの制作物のまとめ方、児童の自己評価や相互評価などを評価します。 ○ あゆみには、活動の様子や児童が努力していたところを文章で記述します。		
〈学習方法など〉 ○ 以下の探究的な学習の一連の過程を繰り返していきながら、自己の課題を解決していきます。 ①課題の設定…体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもちます。 ②情報の収集…各教科等で身に付けた資質・能力を生かしながら、必要な情報を取り出したり、収集したりします。（自分で見る・人から聞く・図書やインターネットで調べるなど） ③整理・分析…収集した情報を、整理したり分析したりして思考します。 ④まとめ・表現…気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、表現します。		